

夏の第九

日本センチュリー交響楽団

山口市特別演奏会



指揮 / 水戸 博之

合唱 / 東京混声合唱団



ソプラノ / 岩下 晶子

アルト / 金子 美香



テノール / 小原 啓楼



バリトン / 小森 輝彦



木下 牧子
混声合唱とオーケストラのための
〈たいようオルガン〉

© 中村紋子

ベートーヴェン
交響曲 第9番 ニ短調 作品125 「合唱付き」



管弦楽 / 日本センチュリー交響楽団

© s.yamamoto

令和5年 7月2日(日) 15:00 開演(14:00 開場)
山口市民会館 大ホール

全席指定 S席 3,000円 / A席 2,000円 ※学生は各半額

*any 会員は一般料金より500円割引(※前売のみ・1会員につき4枚まで購入可能)

*any 会員割引は、山口市民会館・山口情報芸術センターのみ取り扱い

*未就学児の入場不可

*託児あり [※1人700円(2人目以降500円)、6月25日(日)までに要申込]

お問い合わせ
託見申込

山口市民会館 TEL 083-923-1000
財団チケットインフォメーション TEL 083-920-6111

発売日

【any 会員】4月22日(土) 10:00～
【一般】4月29日(土・祝) 10:00～

プレイガイド

【山口】

・山口市民会館 TEL 083-923-1000
・山口情報芸術センター <山口市文化振興財団チケットインフォメーション>
TEL 083-920-6111 <https://www.ycfcp.or.jp/>

・山口井筒屋(4F) ・三好屋レコード店

【防府】アスピラート 【宇部】宇部市文化会館

【チケットぴあ】Pコード: 241-470

【ローソンチケット】Lコード: 63834



指揮：水戸 博之

Hiroyuki Mito / Conductor

1988年北海道江別市出身。東京音楽大学及び同大学院作曲指揮科を修了。在学中、井上道義指揮者講習会にて優秀者に選出。またサントリーホール主催レインボウデビューコンサートに出演する。

指揮を広上淳一、汐澤安彦、田代俊文、加納明洋、三河正典各氏に師事。またモーシェ・アツモン、ピエタリ・インキネン、ヨハヌ・パヌラ、下野竜也、井上道義らのマスタークラスを受講し、薫陶を受ける。

大学院修了後は、広上淳一、川瀬賢太郎、山田和樹各氏らのアシスタントを務め研鑽を積む他、NHK交響楽団より2016年度のパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタント指揮者に任命され、同楽団の公演に携わった。

これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団等に客演。

「しまね県民オペラ2023」にて《ラ・ボエーム》を指揮しオペラデビューを飾る。また、音楽スタッフとして新国立劇場、日生劇場、藤原歌劇団のオペラ公演に参加する他、合唱指揮者として東京混声合唱団、新国立劇場合唱団と共演を重ねている。

現在、白河市コミネス交響楽団音楽監督、オーケストラトリプティーク常任指揮者、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを務めている。



ソプラノ：岩下 晶子

Shoko Iwashita / Soprano

国立音楽大学音楽教育学科卒業。東京藝術大学大学院修士課程、博士後課程、マネス音楽院Professional Studies Diploma (アメリカ)を修了。修士課程進学前に東京混声合唱団に在籍。第77回日本音楽コンクール声楽部門第1位。平成22年度新進芸術家海外研修制度研修員を務める。

これまでにJ.S.バッハ《ミサ曲 口短調》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーベン《交響曲第九番「合唱付き」》、ヴェルディ《レクイエム》、マーラー《交響曲第二番「復活」》、オルフ《カルミナ・ブラーナ》、ストラヴィンスキー《結婚》などでソリストを務める他、オペラではモーツァルト《魔笛》(パミーナ)、プッチーニ《ラ・ボエーム》(ムゼッタ)、木下牧子『不思議の国のアリス』(姉・ユリ)、シュトラウス『ばらの騎士』(マリアンネ)に出演。東京二期会会員。横浜シテオオペラ会員。常葉大学短期大学部音楽科准教授。



アルト：金子 美香

Mika Kaneko / Alto

東京音楽大学を首席で卒業後、同大学院を経てザルツブルグモーツァルトウム音楽院マスタークラスを修了。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位入賞。第15回日仏声楽コンクール第2位及び日本歌曲賞を受賞。

二期会『ワルキューレ』グリムゲルデでデビュー以後、新国立劇場、日生劇場、びわ湖ホール、東京・春・音楽祭など

多くの公演で存在感ある美声と高い音楽性でいずれも高い評価を得ている。2018年夏にはバイロイト音楽祭『ワルキューレ』(ブラシド・ドミンゴ指揮)にグリムゲルデ役で出演という快挙を成し遂げた。

またコンサートにおいてもソリストとしてヴェルディ『レクイエム』ベートーヴェン『第九』『ミサ・ソレムニス』モーツァルト『レクイエム』メンデルスゾーン『エリア』『真夏の夜の夢』など国内主要オーケストラと多く共演している。2018年には初のソロアルバム『南天の花』をリリース。レコード芸術特選盤、音楽現代推薦盤に選ばれた。二期会会員。



テノール：小原 啓楼

Keiro Ohara / Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院修士号及び博士号取得。オペラでは新国立劇場・東京二期会を中心に活躍。主な公演に『フィデリオ』フロレスタン役(東京二期会、大植英次指揮・深作健太演出/京都ロームシアターオーブニング公演、下野竜也指揮・三浦基演出)、『ローエングリン』表題役(びわ湖ホールオペラ、沼尻竜典指揮・栗國淳ステージング/二期会、準メルクル指揮・深作健太演出)、『蝶々夫人』ピンカートン役(二期会、パッティストーニ指揮・宮本亞門演出・高田賢三衣装)、『トロヴァトーレ』マンリーコ役(二期会、パッティストーニ指揮・マリアーニ演出)・松村禎三『沈黙』ロドリゴ役(新国立劇場、下野竜也指揮・宮田慶子演出)・團伊玖磨『夕鶴』与ひょう役(新国立劇場、高関健指揮・栗山民也演出)等がある。コンサートでも数多くのプロオーケストラとヘンデルからロイド・ウェバーまで幅広い作品で共演。愛知県立芸術大学教授。二期会会員。



バリトン：小森 輝彦

Teruhiko Komori / Bass

日本人初のドイツ宮廷歌手。プラハ州立歌劇場での欧州デビュー後12年間、独アルテンブルク・ゲラ市立歌劇場専属第一バリトンとして活躍の傍らザルツブルク音楽祭をはじめヨーロッパ各地に客演し、演じた役は70を超える。帰国後も東京二期会、新国立劇場などの数多くの公演で主役を務め、流麗な歌唱と強い存在感で成功に導いている。ドイツリートの担い手としてコンサートの活動も多く、その深い文学的解釈に裏付けられた表現力で常に本場ドイツの聴衆の強い支持を受けてきた。充実期を迎えた演奏に熱い期待が寄せられている。2019年に井出徳彦とともにリリースした初アルバム『R.シュトラウス歌曲集』はレコード芸術誌で準特選盤。東京音楽大学教授。東京音楽大学付属高等学校長。日本R.シュトラウス協会常務理事。日本声楽発声学会理事。二期会会員。

公式ホームページ <https://www.teru.de>

合唱：東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo / Chorus

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団との合同演奏、指導者派遣等も精力的に行っている。

文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。2019年2月～3月には、フランスのアンジェ、ナントの2都市でバスカル・ロフェ指揮フランス国立ロワール管弦楽団とマーラーの『交響曲第二番』、またモナコのモンテカルロで山田和樹指揮モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団とフォーレの『レクイエム』を共演し、各公演は現地メディアからも高く評価され、大きな成果をおさめた。

<http://toukon1956.com/> (ホームページ)



管弦楽：日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。

Japan Century Symphony Orchestra / Orchestra

1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト『ハイドン・マラソン』に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート『タッチ・ジ・オーケストラ』、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャルホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>



オーケストラ・キャラバン
について

「オーケストラ・キャラバン」は、文化庁のアートキャラバン2(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業)により開催されます。新型コロナウイルス感染症によって、芸術に触れる機会が遠のいた人々に再び芸術を鑑賞する喜びを体験していただくとともに、文化芸術の質の向上や重要性と魅力の発信を目的として、全国各地で開催されます。繊細な最弱音から迫力ある最強音まで、オーケストラの多彩な楽器が奏でる「生」の音楽の魅力をお楽しみください。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。